

平成26年度第2回屋久島山岳部利用対策協議会  
会 次 第

日 時：平成26年12月25日（木）

10:00～12:00

場 所：屋久島環境文化村センターレクチャー室

1 開会

2 協議事項

- (1) 屋久島山岳部保全募金について
- (2) 新高塚小屋のTSSトイレについて
- (3) その他

3 閉会

平成26年度第2回  
屋久島山岳部利用対策協議会出席者名簿

所 属 名	職 名	氏 名	備考
屋久島森林管理署	署 長	樋 口 浩	
屋久島森林生態系保全センター	所 長	前 田 三 文	
屋久島自然保護官事務所	自 然 保 護 官	加 藤 倫 之	
屋久島警察署	地 域 課 長	山 之 口 裕 二	
屋久島環境文化財団	事 務 局 長	溝 口 正 明	
	事 業 課 長	寺 田 太 久 己	
屋久島観光協会	副 会 長	松 本 毅	
	事 務 局 長	榎 光 徳	
	ガ イ ド 部 会 長	満 園 茂	
県レンタカー協会屋久島支部	会 長	欠 席	
屋久島町	町 長	荒 木 耕 治	
	商 工 観 光 課 長	松 本 薫	
	観 光 係 長	渡 邊 郁 夫	
	観 光 係	長 井 久	
	環 境 政 策 課 長	松 田 賢 志	
	自 然 環 境 係	岩 川 卓 誉	
	自 然 環 境 係	真 邊 克 昭	
屋久島町議会	議 長	欠 席	
まつばんだ交通	代 表 取 締 役	藤 山 倉 作	オブザーバー
種子島屋久島交通(株) 屋久島支社	所 長	島 崎 初 則	オブザーバー
県自然保護課	課 長	則 久 雅 司	
県観光課	技 術 主 査	平 山 孝 子	
県屋久島事務所	所 長	西 慎 一 郎	
	総 務 企 画 課 長	小 村 隆 史	
	総 務 企 画 課 主 幹	廻 秀 仁	
	総 務 企 画 課 主 事	大 山 福 太 朗	

## 平成26年度事業経過(屋久島山岳部利用対策協議会)

月日	事項	内容等
平成26年3月1日 ～11月30日	縄文杉ルートにおける携帯トイレブースの追加設置	平成24年度から引き続き、屋久島山岳部利用対策協議会が設置主体となって、マイカー規制期間(3月1日～11月30日)に、縄文杉ルートにおける3箇所(小杉谷小学校跡地、大株歩道入口手前のトロッコ転換地点、大王杉手前植生保護デッキ近くの資材置き場)に携帯トイレブースを設置。
平成26年5月3日 ～5月5日	縄文杉周辺マナー指導	GW期間中(5/3～5の3日間)に、縄文杉周辺のマナー指導を実施。 →林野庁(1日間)、環境省(1日間)、県(1日間)
平成26年6月10日	第1回屋久島山岳部利用対策協議会実務担当者会議	【議題】 1 屋久島山岳部保全募金について 2 鹿之沢小屋及び石塚小屋への携帯トイレブースの併設について →鹿之沢小屋及び石塚小屋に併設する携帯トイレブースの設置主体、維持管理等に関する事項について協議を行う。 3 その他
平成26年7月10日	荒川登山道安全点検	林野庁(4人)、環境省(2人)、屋久島町(4人)、財団(2人)、県(3人)で、荒川登山道の安全点検を実施。 →前回からの点検箇所(13カ所)については、大きな変化なく、経過観察することとなった。また、新たに1カ所、点検箇所を追加することとなった。
平成26年7月25日	第1回屋久島山岳部利用対策協議会	【議題】 1 屋久島山岳部保全募金について (1)平成25年度の募金の収支決算について (2)今後の募金の見込みについて 2 避難小屋(鹿之沢及び石塚)への携帯トイレブースの併設について →「避難小屋(鹿之沢及び石塚)への携帯トイレブース等の併設にかかる取り決め事項」(設置主体、維持管理に関する事項)について了承。 3 その他
平成26年8月10日 ～8月23日	縄文杉周辺マナー指導	夏休み期間中(8/10～23の8日間)に、縄文杉周辺のマナー指導を実施。 →林野庁(1日間)、環境省(1日間)、県(1日間)、財団(2日間)、屋久島町(1日間)、観光協会(2日間) ※8/9も実施予定であったが、台風のため中止
平成26年8月11日	石塚避難小屋現地調査	林野庁(1名)、環境省(2名)、県(2名)、屋久島町(3名)、観光協会ガイド部会(1名)で、石塚避難小屋に併設する仮設携帯トイレブースの設置場所の確認と石塚避難小屋の補修に係る現状調査を実施
平成26年9月9日	鹿之沢避難小屋現地調査	林野庁(2名)、環境省(3名)、県(2名)、屋久島町(3名)、財団(2名)、観光協会ガイド部会(1名)で、鹿之沢避難小屋に併設する仮設携帯トイレブースの設置場所の確認と鹿之沢避難小屋の補修に係る現状調査を実施
平成26年10月9日	第2回屋久島山岳部利用対策協議会実務担当者会議	【議題】 1 屋久島山岳部保全募金の収受率向上対策について 2 屋久島山岳部保全募金の支出経費削減対策について 3 その他

## 屋久島山岳部保全募金について

### 1 募金の収支について

#### 【平成 26 年度（11 月末現在）収支】

募 金 総 額 17,960,474 円 . . . ①

支 出 経 費	<u>21,743,701 円</u>	. . . ②
うちし尿搬出経費	17,500,585 円	
その他経費	4,243,116 円	

H26 単年度収支 (①－②)           ▲ 3,783,227 円 . . . ③

前年度繰越額                   5,982,793 円 . . . ④

H26 年 11 月末残額 (③＋④)       2,199,566 円

#### 【募金額の比較】

(単位:円)

		H26(11 月末)	H25(3 月末)	H24(3 月末)	H23(3 月末)
募 金 総 額		17,960,474	21,091,836	19,832,400	17,394,736
募 金 窓 口 別	荒川登山口(業務員分)	10,905,709	16,043,647	14,039,313	14,444,881
	荒川登山口(上記以外)	312,901	325,385	309,798	260,304
	淀 川 登 山 口	727,135	710,683	544,318	539,179
	島 内 窓 口	711,341	797,424	846,879	723,372
	大口 (企業等募金)	5,303,38	3,214,697	4,092,092	1,427,000

#### 【搬出し尿量及び経費の比較】

(単位:リットル, 円)

		H26(11 月末)	H25(3 月末)	H24(3 月末)	H23(3 月末)
高 塚	搬 出 量	2,420	2,180	3,320	4,200
	経 費 (単 価)	3,872,758 (31.8 千円)	3,400,787 (31 千円)	5,677,513 (34 千円)	5,502,979 (26 千円)
新 高 塚	搬 出 量	3,020	1,980	1,220	2,320
	経 費 (単 価)	7,324,255 (48.3 千円)	4,672,901 (47 千円)	3,062,182 (50 千円)	5,127,242 (44 千円)
淀 川	搬 出 量	4,060	4,600	6,320	7,040
	経 費 (単 価)	3,796,912 (18.5 千円)	4,185,618 (18 千円)	6,382,673 (20 千円)	4,646,683 (13 千円)
鹿 之 沢	搬 出 量	500	1,020	1,280	740
	経 費 (単 価)	1,239,844 (49.3 千円)	2,461,685 (48 千円)	3,343,073 (52 千円)	1,598,854 (43 千円)
石 塚	搬 出 量	520	480	520	280
	経 費 (単 価)	1,266,816 (48.3 千円)	1,140,495 (47 千円)	1,312,495 (50 千円)	605,570 (43 千円)
合 計	搬 出 量	10,520	10,260	12,660	14,580
	経 費	17,500,585	15,861,486	19,777,936	17,481,328

\*単価(運搬)は 20 リットルあたり。経費には汲み取り料金が加算される。

## 2 山岳部保全募金の今後の見込み（平成 27 年 3 月末）

	【H23 実績】	【H24 実績】	【H25 実績】	【H26 (11 月末) 実績】	【H26 (3 月末) 実績見込】
募 金 総 額	17,395 <sub>(千円)</sub>	19,832 <sub>(千円)</sub>	21,092 <sub>(千円)</sub>	17,960 <sub>(千円)</sub>	19,960 <sub>(千円)</sub>
支 出 経 費	19,981 <sub>(千円)</sub>	22,794 <sub>(千円)</sub>	19,045 <sub>(千円)</sub>	21,744 <sub>(千円)</sub>	23,009 <sub>(千円)</sub>
(うちし尿搬出経費)	17,481 <sub>(千円)</sub>	19,778 <sub>(千円)</sub>	15,861 <sub>(千円)</sub>	17,501 <sub>(千円)</sub>	17,501 <sub>(千円)</sub>
(その他経費)	2,500 <sub>(千円)</sub>	3,016 <sub>(千円)</sub>	3,184 <sub>(千円)</sub>	4,243 <sub>(千円)</sub>	5,508 <sub>(千円)</sub>
単年度収支	▲2,586 <sub>(千円)</sub>	▲2,962 <sub>(千円)</sub>	2,047 <sub>(千円)</sub>	▲3,784 <sub>(千円)</sub>	▲3,049 <sub>(千円)</sub>
前年度繰越額	9,484 <sub>(千円)</sub>	6,898 <sub>(千円)</sub>	3,936 <sub>(千円)</sub>	5,983 <sub>(千円)</sub>	5,983 <sub>(千円)</sub>
年度末残額	6,898 <sub>(千円)</sub>	3,936 <sub>(千円)</sub>	5,983 <sub>(千円)</sub>	2,199 <sub>(千円)</sub>	2,934 <sub>(千円)</sub>

## 3 平成 26 年度の単年度収支が赤字となった主な要因

### (1) 募金収入の減少

- ・客層の変化（若い客層や外国人の増加）に伴う募金率の低下
- ・入山者数が減少傾向
- ・入山者が多い連休や週末にかけて台風が 4 回襲来

### (2) し尿搬出経費の増額

- ・し尿搬出単価の増額（消費税の改正 5%→8%）
- ・その他経費の増額（町の雇用対策事業の終了に伴う人件費の増額）
- ・し尿搬出量の増量

## 4 現在の主な状況

### (1) 大口募金の呼びかけ

- ・今年度の不足を補うため、町及び県屋久島事務所による島内外の企業への大口寄附金の呼びかけ

※企業からの大口寄附額：約 490 万円（11 月末時点）

### (2) 山岳部トイレのし尿のストック

- ・山岳部保全募金の不足により、高塚小屋・新高塚小屋・淀川小屋のトイレにおいて搬出できないし尿をバケツにストック
- ・ガイド有志（約 40 名）による無償搬出を計画

※12 月 18 日に予定していたが、悪天候のため中止

【ストックしているし尿の内訳】※バケツ 1 個当たり 90L で換算

・高塚小屋	・・・	90L×12 個	=	1,080L	（搬出費用：1,717,200 円）
・新高塚小屋	・・・	90L×9 個	=	810L	（搬出費用：1,956,150 円）
・淀川小屋	・・・	90L×6 個	=	540L	（搬出費用：567,000 円）
ストック合計		27 個		2,430L	（搬出費用：4,240,350 円）

# 平成26年度第2回実務担当者会議(10月9日)での議論のとりまとめ

収受率向上対策		会議での意見等	今後の取組の方向性(案)	備考
ゲート機能の追加設置		【環境省】 ・白谷雲水峡やヤクスギランドと同じように、ゲート機能を追加設置すると100%に近いくらい募金していただけたらと思う。	・淀川登山口、荒川登山口へのゲートの設置に向けた検討(人員の配置も含む) ・白谷雲水峡への人員配置の検討(レク森の管理人がいない早朝のみ)	
人員の配置		【環境省】 ・昨年度から繁忙期に淀川登山口において、携帯トイレのアンケートを実施しており、その時に、募金への協力も呼びかけてもらっている。それによって募金している方々が増えていると聞いている。 ・荒川登山口だけではなく、淀川や白谷雲水峡にも人員を配置することが必要。		
企業からの寄附		【環境省】 ・登山用品メーカー(例えば鹿児島に支店がある好日山荘とかモンベル)や関係がある企業に募金の協力をお願いをしたらどうか。 ・山に関わるお弁当業界など、飲食業とかもう少し広いところに協力を呼びかけていくことが大事である。	【実施済み】 ・島内外の企業を訪問し、募金への協力を依頼。<町、事務局>  【今後】 ・登山用品メーカーに対する募金等の協力依頼の検討	
チラシ、ポスターでの募金の周知		【町商工観光課】 ・いろんな機会に旅行代理店などに対し、募金を理解してもらうためのチラシやポスターがほしい。  【町環境政策課】 ・以前、県自然保護課がチラシを作り、観光協会にもパンフレットを配るときに、そのチラシの配布もお願いしたことがある。 ・協議会で作ったポスターについては、内容があまり良くないということで、掲示を止めた経緯がある。	【実施済み】 ・募金への協力をお願いするチラシを作成し、関係機関に配布。観光協会については、会員への周知を依頼。チラシについては、港などにも掲示。<町、事務局>  【今後】 ・みんなに理解してもらえるようなチラシ・ポスターの作成に向けて費用負担、デザイン等を検討する。	
募金箱の工夫	LEDライトの設置	【環境省】 ・朝早く暗い中登山をする人もいますので、LEDライトなどを置いておいて、募金箱をライトアップしたらどうか。	【実施済み】 ・H26年11月6日に淀川登山口の募金箱をライトアップするLEDライトを設置<町>	
	募金箱を大きく、目立つようにする	【屋久島環境文化財団】 ・前回の会議の時に議論したが、募金箱を目立つ色に変えたり、もっと形体を変えて募金がし易いような仕組みにするとかできないのか。  【環境省】 ・国立公園内にも作る場合、色は茶色とかに限られるが、文字の色までは指定されていないので、こげ茶色のところに、黄色で目立たせるなどの工夫はできる。	・新たな募金箱の設置に向けて、費用負担、デザイン等を検討する。	
避難小屋(トイレも含む)の利用者からの募金の徴収	避難小屋への募金箱の設置	【ガイド部会】 ・屋久島は避難小屋であるが、山小屋の使用料としてお金を取れないのか。屋久島では、山小屋使用料として、1,000円いただきます。それで泊まる人に各小屋に募金箱を設置していますということを報道できれば、募金が集まると思う。  【環境省】 ・来年度以降、オリンピックの関係で、国が整備費の1/2の範囲内で補助金を出せるようになった。それを使って統一感のある良いデザインの募金箱などを避難小屋に設置することも検討する必要がある。	【実施済み】 ・H26年11月12日に高塚避難小屋(町所有)の中に募金箱を設置<町>  ※高塚避難小屋以外の県所有の避難小屋の中に募金箱を設置することは可能であるが、設置に当たっては、許可が必要。<県観光課>  【今後】 ・国の補助金を活用した募金箱などの設置等を検討	公園計画上の避難小屋の定義：「公園利用者が山岳等において、一時難を避けるために設けられる避難施設をいう。(避難時以外の宿泊利用を目的とする施設は宿舎とする。)」
	トイレへの募金箱の設置			
	避難小屋(トイレを含む)での使用料の徴収		・屋久島にあるのは山小屋(宿泊目的)ではなく、無人の避難小屋であるため、宿泊目的として使用料を徴収する場合は、目的外使用となり、条例の制定が必要。また、適正に使用料を徴収するためには、管理人を置く必要があることなどから、現時点での避難小屋での使用料の徴収は困難。<県観光課>	
車両運行対策協議会の協力金に山岳部保全募金を上乗せして徴収することについて		【町商工観光課】 ・車両の協力金は、スタートから2年間くらいは、苦情等が多かった。 ・徴収は法的に問題がないようにやっているが、少し強制力が見え隠れするというような指摘もある。 ・淀川や白谷では徴収せずに、徴収しやすいところから取るというようなことが拭ききれない。 ・もう一歩前に進める(募金の上乗せ徴収)ためには、もう少ししっかりと議論が必要。  【ガイド部会】 ・取りやすいところから取ろうとしている。車両の協力金に募金を上乗せしたら、バス代が高くなるイメージが強い。バス会社も同様な意見。 ・小屋に宿泊する人からも募金を徴収しながら荒川の登山客からも募金をもらうというのであれば賛成。	・実際に避難小屋トイレを利用する人に募金への協力をしてもらうための対策の検討が必要。(小屋又はトイレでの徴収) ・淀川登山口、白谷雲水峡での募金の徴収対策の検討も必要。  上記などの対策を行った上で、どうしても収受率が向上しない場合に、募金の上乗せ徴収を検討する。	車両運行対策協議会の荒川登山バス協力金(中学生以上：片道180円) ※H22年3月から(3月～11月) ※別途バス代690円が必要